

平成 21 年 1 月 20 日

「社会人の学び直し講座」他校訪問調査報告書

相手校：釧路高専

事業の名称：「オープンソースソフトウェア利用技術修得プログラム」

日 時：平成 20 年 12 月 5 日（金）10：00～12：10

場 所：釧路高専 北海道釧路市大楽毛西 2 - 32 - 1（〒084-0916）

対応者：大槻 典行 情報工学科教授

鈴木 恵子 総務課課長補佐（総務担当）

訪問者：技術部 衛藤 賢一 高石 伸一

報告内容

（1）応募の背景・動機

- ・ 情報工学科が平成 2 年から行っていたオープンソースソフトウェア（OSS）を利用した授業の資源や KnowHow を活用し、初心者から上級者までの OSS 利用者のための人材育成を目的とする。
- ・ OSS 利用者の拡大と普及。

（2）運営体制・組織

- ・ 釧路高専では、情報工学科の教員 7 名が講座の講師を担当し、数名の学生が補助を行っている。
- ・ 教員一人が 2 回分を担当する。
- ・ 実施体制は、学内のプログラム実施委員会と外部の協力団体（釧路市、釧路根室圏産業技術振興センター、釧路 IT クラスタ推進協会、釧路 OSS コミュニティ）とが連携している。

（3）事業内容

- ・ 初級コース：Linux やオフィス系の OSS アプリケーションを使えるレベル。（Fedora 使用）
- ・ 中級コース：Linux のインストールや設定ができるレベル。（CentOS 使用）
- ・ 平成 19 年度は、初級コース（19.12.6～20.2.9）を 15 回（1 回：2 時間）実施した。実施場所は学内の演習室。定員 20 名に対し 60 名を超える応募があり、27 名を受講生とした。
- ・ 修得レベル確認（学力試験と実技試験）を 14 回目に実施。
- ・ 修了者には修了証書と技術レベル認定証を授与。技術レベル認定証の全ての項目（5 項目）を満たす受講生は中級コースを優先的に受講できる。
- ・ 平成 20 年度は、中級コース（20.7.4～9.20）を 15 回（1 回：2 時間）実施した。実施場所は学内の演習室。定員 20 名に対し 33 名の応募があり、23 名を受講生とした。

（4）その他

- ・ 講座で利用するパソコンは授業で使用する Mac mini で、学び直しの講座用にハードディスクのみを新規に購入した。
- ・ Mac mini は、MacOS-X、Windows、Linux の OS が利用できる。
- ・ メールアカウントを受講生用に準備し、講師への質問などに利用されている。メールを利用するにあたり事前講習を行っている。アカウントは年度末まで有効。
ログの管理を行い不正利用者は即利用停止。
- ・ 学内でのメールは OSS の SquirrelMail（スクイリルメール：Web メール）を使用している。
- ・ 事務補佐員を 2 名採用し、そのうち 1 名は用度係配属。

- 講座テキストは印刷部として配付せず、コンピュータ上で閲覧できるようにしている。
- 講座応募者にアンケートを実施し、受講生を決定している。フォルダとファイルの違いが説明できない応募者、Yesの項目数が6割を超えていない応募者は受講不可と判断している。
- 70歳代の方も1名受講した。



演習室のパソコン (Mac mini)



演習室